

主な内容

各部・委員会報告  
各ブロック活動報告  
令和六年度  
全国大会「予定」



未来を見据え

— 幼児教育の基盤の強化と展望 —

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 高橋 慶子



生かして新年度の教育課程編成等、客観的に進めていくことで、幼児教育の質の向上と国公立園の幼児教育の理解を推進に資することになります。振り返りを大事にしてまいります。

組織としての成長を

幼児教育の充実のためには、行政に働きかける団体は重要な存在です。また、園長が地域を超えて繋がり、力量を高めていくにも組織は必要であり、組織の維持や発展は不可欠です。国公立も持続可能な組織として、事業の見直しと未来を見据えた計画等に努め、全国の園長会とも連携・協力し、その役割を果たすべく歩んでいく所存です。組織として成長を遂げていくためにも皆様のご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国の幼児教育の動きについて

国の幼児教育の動向については、敏感に把握して園の経営や幼児教育の質の向上、国公立園の幼児教育の理解推進にも役立ててまいります。

来年度の文部科学省の幼児教育の事業については①幼児教育の質の向上②幼児教育の質の向上を支える自治体への支援③幼児教育の質を支える教育環境の整備、と大きく三つが予算化されています。特に幼保小の架け橋プロダ

ラム事業は三年目になり、その取組と成果の普及の年となります。また幼児教育に関する大規模縦断調査事業や幼児教育の学び強化事業での新しい研究の視点では、「幼稚園が〇、二歳の未就園児を受け入れて行うふさわしい活動の在り方」等が実施予定です。継続の事業もありますし、③ではICT環境整備の支援も含まれます。公立園でも費用の支援が見込めますので、ぜひ教員一人一台のPC普及を実現していくことができると考えます。さらにはこども家庭庁の子育ての支援についての制度にも目を向けて、その制度利用が国公立幼稚園・こども園の運営に功を奏することができればと考えるところです。

今年の全国大会について

昨年十二月、国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会愛媛大会と全国公立幼稚園・こども園研究協議会北海道大会の事前訪問に伺いました。教育長様や市長・副市長様、教育委員会の皆様にお目にかかることができ、開催のご支援を賜ることができ、開催しました。道・県の園長先生方のチームワークの素晴らしさと、大変である大会準備についても全国の先生方の学びを深めるためにと熱心に取り組んでいらっしゃいました。頭が下がる思いでした。全国の園長先生方におかれましては、その思いに応え、ぜひこの二つの大会に参加し、ご自身のキャリアアップにつなげ、質の高い幼児教育の営みを継続してください。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。